

原材料、労務費等コスト負担の増加が継続

最低賃金の改定や物流コストの増大により先行きは不透明

～景況 DI 値は、前年同月比13.2ポイント低下のマイナス36.9～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 10月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比21.1ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比31.6ポイント低下のマイナス31.6。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比10.6ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス15.8。非製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比10.5ポイント上昇のプラス68.4。

収益状況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス57.9。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス21.1。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス21.1。非製造業では、前月比21.1ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス15.8。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス26.3。非製造業では、前月比同水準のマイナス5.3、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス5.3。

景況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比15.7ポイント低下のマイナス31.5。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比2.7ポイント上昇のマイナス13.1、前年同月比13.2ポイント低下のマイナス36.9となった。製造業では、原材料やエネルギーコストの高止まりが続く中、米国関税の影響による材料調達遅延や価格上昇が収益を圧迫しているほか、需要の回復は限定的で、受注の伸び悩みや人手不足への対応、賃上げなど経営負担の増加が課題となっている。非製造業では、観光シーズンを迎え人流が増加し一定の景気回復が見受けられる一方、物価高騰による消費意欲の低下が小売、飲食分野を中心に影響している。運輸業や卸売業では燃料費や人件費の上昇が続き、収益を圧迫している。県内景況は、エネルギーや原材料費、労務費等の上昇によるコスト負担の増加が続くなか、価格転嫁の困難さや人材確保の遅れが経営を一層ひっ迫させている。今後も最低賃金の改定や物流コストの増大が懸念され、先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産 (㈱帝国データバンク調べ)

10月の全国倒産は、件数965件（前年同月925件、4.3%増）と2025年で最多となり、5カ月連続で前年を上回った。10月としては、2009年（1070件）以降で最多となり、1000件に迫る高水準で推移した。2025年1～10月の累計は8584件で、前年同期（8219件）を365件、4.4%上回った。

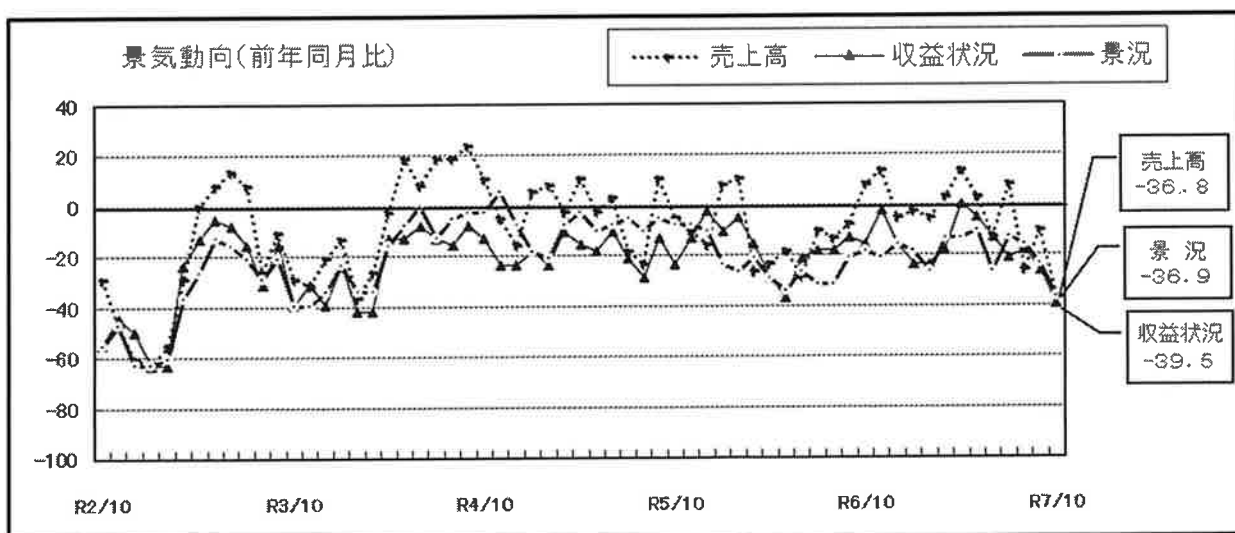
一方、10月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数4件（前月4件）、負債総額は10億800万円（前月3億9300万円）となった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報9月分」)

鳥取県の9月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.27倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.20倍）で、前月と同水準。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.13倍、米子所1.37倍、倉吉所1.31倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.17倍（季節調整値）で、前月より0.25ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比8.8%減少し、有効求人数も5.8%減少した。産業別に前年同月と比較すると、公務・その他（72.5%）、建設業（6.5%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比1.0%増加、有効求職者数は前年同月比5.2%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.09倍で、前年同月と同水準、新規求人数は前年同月に比べ20.4%減少した。



10月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	36.8%	15.8%	21.0 10.5	26.3%	31.6%	-5.3 10.5	31.6%	23.7%	7.9 10.5
(2) 在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	8.3%	8.3%	0.0 -8.4	6.5%	9.7%	-3.2 -3.2
(3) 販売価格	5.3%	0.0%	-5.3 -10.6	31.6%	5.3%	26.3 10.5	18.4%	2.6%	15.8 5.3
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 -5.3	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	2.6%	-2.6 -2.6
(5) 収益状況	10.5%	10.5%	0.0 -5.3	10.5%	15.8%	-5.3 10.5	10.5%	13.2%	-2.7 2.6
(6) 資金繰り	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	5.3%	5.3%	0.0 21.1	2.6%	5.3%	-2.7 13.1
(7) 設備操業度	26.3%	0.0%	-26.3 -36.8						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	7.9%	-7.9 0.0
(9) 景 況	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	5.3%	18.4%	-13.1 2.7

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	10.5%	52.6%	-42.1 -21.1	15.8%	47.4%	-31.6 -31.6	13.2%	50.0%	-36.8 -26.3
(2) 在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	8.3%	8.3%	0.0 -8.3	6.5%	9.7%	-3.2 -6.4
(3) 販売価格	21.1%	5.3%	15.8 5.3	68.4%	0.0%	68.4 10.5	44.7%	2.6%	42.1 7.9
(4) 取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1	0.0%	15.8%	-15.8 -10.5
(5) 収益状況	5.3%	63.2%	-57.9 -10.6	10.5%	31.6%	-21.1 -15.8	7.9%	47.4%	-39.5 -13.2
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 5.2	0.0%	18.4%	-18.4 2.7
(7) 設備操業度	0.0%	31.6%	-31.6 0.0						
(8) 雇用人員	0.0%	26.3%	-26.3 0.0	10.5%	15.8%	-5.3 -10.5	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3
(9) 景 況	0.0%	42.1%	-42.1 -10.6	5.3%	36.8%	-31.5 -15.7	2.6%	39.5%	-36.9 -13.2

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料高（特に鶏卵）の高止まりと人件費の増加により、いかに販売価格の値上げをするかが喫緊の課題になっている。

醤油⇒ 味噌・醤油の業界は、当県の味噌は米味噌が主であるが、原材料の米の価格は令和7年度産も高騰が続いており、生産コストを押し上げている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ マーケットの動きは鈍く、仕事量は低水準で推移している。

ニット製品⇒ 来年の春・夏物の受注動向に特に大きな変化は見られず、秋物についても不調に終わり、追加受注はない。最低賃金のアップを受けて、パート、時短勤務者を主として雇用の見直しをする企業が多い。

【家具・装飾品】

⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も前月比、前年同月比ともに悪化となった。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で微増、前年同月比で減少、製材品、合板の生産量は前月比で増加となった。製材用素材の品質が良い時期ではあるが製材品の需要に合わせて流通量は少なく価格は上がっている。住宅の新築物件は徐々に増えてはいるが、県外の手ハウスメーカーの物件が増えており、地場業者の物件の需要は伸び悩んでいるため、素材に対して製材品の値上は難しく採算がとれていない業者もある。プレカット加工の稼働率は前月比320%、前年同月比は75%で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比で増加、前年同月比で同水準となった。

【印刷】

⇒ 前月に引き続き秋篠宮家の次女佳子さまが因州和紙を使用したイヤリングを着用された効果によりネット注文が続いている。メディアにも取り上げられ、主に県外からの発注がほとんどである。印刷は例年並みではあるがスポーツ、食べ物、芸術等季節関連の受注やイベント、セミナー、カニ等の印刷があった。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 東部地区の10月の出荷量は、前年同月比75.8%となり、3か月連続で減少した。減少の主因は、引き続き災害復旧工事の収束に伴う需要の落ち着きとみられる一方、前月比では100.2%とほぼ横ばいで推移しており、全体として底堅い動きが見られる。この傾向は今後も一定期間継続する可能性が高いと考えられる。中部地区では、前年同月比73.0%にとどまり、今年度に入り7か月連続で前年実績を下回った。また、4月から10月までの累計出荷量も前年同期比70.9%と低水準で推移している。需要の停滞傾向は依然として顕著であり、当面は低迷基調が続くものと見込まれる。西部地区では前年同月比75.8%と前年を大きく下回った。この要因としては、前年9月～10月に民間の大型物件が稼働していた反動減の影響が大きいとみられる。もっとも、一定の需要の底堅さもうかがえ、当面は堅調な推移が続くものと見込まれる。若手人材の確保に苦慮しており、今後の事業継続上の課題となっている。

【金属製品】

金属部品加工⇒ 県内の機械金属加工業者は、依然として厳しい経営環境にあるものの、回復の兆しも見受けられる。生産活動は一部の業種で持ち直しの動きがみられ、特に自動化設備や省力化機械など、企業の生産性向上ニーズに関連する分野では受注が堅調に推移している。また、県内製造業全体としても設備投資意欲が徐々に回復し、協力企業間での取引量にもわずかながら増加傾向がみられる。一方で、原材料やエネルギー価格の高止まり、人手不足による生産制約、さらには海外経済の減速懸念など、先行きには依然として不透明感が残る。特に中小企業ではコスト上昇分の価格転嫁が難しく、利益確保に課題を抱える事業者も多い。今後は生産性向上への投資や技術の高度化、地域企業間の連携強化を通じて、持続的な回復基調を確かなものとしていくことが求められる。

鉄骨加工⇒ 手持ち工事量、稼働率、見積物件の件数とも格差が続いている。年度末にかけて中西部では大型物件（2000トン～4000トン）の発注があり、東部では年末にかけて中規模程度（400トン）の発注が見込まれることに期待が持たれる。見積物件は減少傾向となっている。大型物件の事案はあるものの具体化しておらず、物件情報の傾向と動向を厳しく注視しながら各社とも稼働率の維持に専念している。

金属熱処理⇒ 10月の加工料収入は前月比では増加したものの、前年同月比では減少した。エネルギー関連部品の熱処理依頼は引続き好調を維持しているが、その他の自動車、産業機器部品の依頼品は低迷気味である。その様な中でも一部の顧客には増加の兆しも伺える一方、さらに低迷する顧客もあり、若干の格差が生まれつつある。

【電気機械器具】

⇒ 米国関税の影響により材料の納期遅延が発生しているうえ、材料の不足や生産調整で計画変更が多発している。安定生産に支障をきたしており、収益確保が厳しい状況。設備投資や賃上げ等への対応に苦慮している。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、売上高、取扱数量は前月比、前年同月比ともに減少した。10月の食料品の値上げによる物価高騰の影響を受けているものと考えられる。鮮魚関係では売上高、取扱数量は前月比、前年同月比ともに減少した。単価については前年同月比で増加傾向が続いている。

中部地区⇒ 前年同月比では工事の大型案件があったため売上高、収益状況ともに減少となったが、前月に引き続きOA関係が牽引し、業況は比較的良好な状態で推移していると思われる。大手事務用品の通販サイトでランサムウェア被害が出ており、現場では多少の混乱が起きた。合わせてセキュリティへの意識が高くなり、問い合わせが少しずつ増えてきている。

西部地区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げ基調の影響について、今回は据え置きであったものの、各金融機関の住宅ローンが利上げ基調で今後の影響が危惧される。米国関税の合意も、従来からの関税上昇の影響が懸念され先行き不透明感は強まっている。株価上昇に伴う景気動向の上昇に期待が持たれる。

水産物⇒ 時化模様の日が多く巻き網は大型船団によるブリ類、中型船団はツバス中心の水揚げとなりアジ、サバ、イワシは不漁に終わり全体の水揚げ量は昨年を

大きく下回った。輸出向けのツバス以外は冷蔵施設を稼働させるほどの絶対量がなく各社苦戦模様。底引き漁はタラ、エテガレイ、スルメイカ等、比較的順調に推移した。紅ズワイ漁は安定的な水揚げが続き昨年より水揚げ量も2割近く増加し、年末需要の思惑買いもあって、浜値段は高値で推移した。

リサイクル原料⇒ 取扱品物の発生数量は、若干の減少が見受けられる。価格は一部品目が上昇傾向にある。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、10月は街区子育て支援施設による商店街店舗でお菓子を貰って回るハロウィンパレードが行われ、多くの子供連れの来場者で賑わった。諸物価の高騰からくる消費マインドの減退は、商店街店舗の利用客数にも大きく影響を及ぼしており、仕入れ価格の高騰を価格転嫁することにより売上は一定程度維持しているものの、客数は減少しており、人手不足に加え最低賃金の上昇等による経費の増加が店舗の利益を圧迫することが懸念される。物価高騰が影響し、消費者の財布の紐は引き続き固く、生活防衛の色が濃く出ている。観光シーズンとなり駅周辺では観光客も多く人流は増加傾向となっている。インバウンドを含む旅行客などの増加はプラス要因であるが、物価上昇でコストの負担が大きくなっており、小売も飲食も価格転嫁により売上は増加していても、原価などコストの上昇の方が大きく、トータルでは厳しい状況に変わりはない。飲食店では価格の上昇が客離れの要因となっている。

鳥取市の水産物小売では、10月の入込数は前月比で減少、前年同月比は概ね横ばいで推移した。漁獲量の減少やあらゆる経費負担の増加に伴い魚の相場も高まってきた。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、鳥取県立美術館のオープン以来、企画展や一般展示が大好評で多くの方に美術館に足を運んでいただいている。倉吉への入り込み数は増えているものの、中心市街地のほか白壁土蔵群や円形劇場、小川家住宅、さらには倉吉銀座商店街への入り込みへはつながっていない。倉吉銀座商店街で実施した『福高祭2025』は、昨年に比べて入り込み数が大幅に減少した。今年の『福高祭』は『遙かな町へ』と言うテーマで映画撮影をしていただいた錦織良成監督や、出演された多くのエキストラの皆さんにお集まりいただき、撮影でのエピソードを語り合っていた。映画を機に、街が活性化されていくことを期待している。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、学生によるフィールドワークが活発に行われ、中学、高校の授業受け入れも実施。生徒の皆さんが地域の課題を“自分ごと”としてとらえ、主体的に学ぶ姿勢が見られたことは大変意義深く、今後も継続して取り組んでいきたいと考えている。集客については前年と同様の水準で推移したが、やや人の動きが鈍い印象も見受けられた。今後はより効果的な情報発信やイベント企画を通じ、来街促進につなげていきたい。12月にはパティオ広場をメイン会場として「元町クリスマスマーケット」の開催を予定している。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、暑さもひと段落し、秋の観光シーズンということで、多くの人手で賑わった。特に月末の鳥取砂丘ハロウィンイベントにミャクミャクが来るなど、地元や全国ニュースで取り上げられ賑わいをみせた。団体に関しては苦戦が続くも後半は少しずつ例年並みに戻りつつある。ただし、11月以降は再び貸切バス代の値上げが予定されており、影響が懸念される。米子市のホテル・旅館では、恒常的に人材不足が続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。

三朝温泉では、土日祝日は多くのお客様が訪れた一方、平日は天候不良もあつ

たほか、特に万博終了間際から一気に減少傾向となった。11月以降に観光客の増加に期待が持たれるが、閑散期対策が必要となっている。

羽合温泉では、10月の宿泊は前月比で約35%増加、前年同月比で概ね横ばいとなった。昨年のねんりんピックのような大きなイベントはなかったが、全体的に天候に恵まれたほか、インバウンドのお客様が増加したことで昨年並みの宿泊数となった。

【自動車整備業】

⇒ 10月の新車は普通車・軽自動車を合わせて2,137台で前月比6.4%、前年同月比3.9%でともに減少となった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて6,199台で前月比5.9%、前年同月比は3.0%でともに減少となった。継続検査は普通車・軽自動車を合わせて15,646台で前月比は7.3%の減少、前年同月比は1.4%の増加となった。

【建設業】

⇒ 9月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額151億円(前年同月比49.5%増)、件数162件(前年同月比9.0%減)となった。年度累計(令和7年4月～令和7年9月)は、請負金額633億円(前年同月比63.0%減)、件数985件(同11.8%減)。地区別では、日野地区で大幅増加、西部地区で増加、中部地区は前年並み、東部、八頭地区で減少となった(前年同月比)。設備投資は3か月平均で前年同月比プラスに振れ、公共投資も単月、年度累計ともにプラスに振れる。一方、住宅投資は3か月平均で大幅なマイナスが続く。全体としては、なお弱めの動きとなっている。また、先行きも弱含む。資材価格や労務コストの高騰による売上、採算の悪化が継続し、住宅関連工事の不振が危惧される中、大手や県外業者の進出による競争の激化も懸念されている。

9月の鳥取県新設住宅着工戸数は204戸(持家163戸、貸家41戸)で、前月比61%増加、前年同月比11%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 10月の物流は、年間の第二繁忙期ということもあり、飲料関係や農産物の輸送が好調で物流量としては増加となった。依然としてドライバー不足は深刻で時間外労働規制を背景に、スポット運賃は高止まりが続いている。売上は前月比、前年同月比ともに増加となったが、値上げによるものとの見方も出来る。時節的に上向きになると見られるも、法改正の対応に追われる中、燃料価格や人件費及び車両本体価格、諸経費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしている。軽油取引税の旧暫定税率が2026年4月に廃止することとなったものの、今後も厳しい状況に変わりはない。

西部地区⇒ 農産物関連において若干の回復が見られ、他配送についても若干増加した。引き続きドライバー不足は深刻であり人材確保のため一層の経営努力が必要となっている。物価高騰によるトラック及び関連機器の費用、人件費、燃料費など経営環境は苦戦を余儀なくされている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・電気料金、ガス料金の値下げを望む。米国関税に対するコストダウンを下請けに要請しないよう対策を望む。【金属熱処理業】
- ・消費税廃止など大胆な経済政策を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2024年												2025年	前年との 増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	26.3	-10.5	-5.2	-21.0	-5.3	5.2	21.0	-10.5	-10.5	26.3	-26.3	10.5	21.0	-5.3
	非製造業	21.0	15.7	-5.3	-36.8	15.8	68.4	-26.3	21.0	21.0	26.3	26.3	-15.8	-5.3	-26.3
	全業種	23.7	2.6	-5.2	-29.0	5.3	36.9	-2.7	5.3	-18.4	26.3	0.0	-2.6	7.9	-15.8
在庫数量	製造業	0.0	15.8	-15.8	-10.5	5.3	-21.1	-26.3	0.0	-10.5	-15.8	0.0	-5.3	-5.2	-5.2
	非製造業	0.0	8.4	16.7	-8.4	8.3	25.0	8.4	25.0	16.7	33.3	16.7	8.4	0.0	0.0
	全業種	0.0	12.9	-3.2	-9.6	6.4	-3.2	-12.9	9.6	0.0	3.2	6.4	0.0	-3.2	-3.2
販売価格	製造業	5.3	5.2	-5.2	5.3	10.5	10.5	-5.2	10.5	15.8	5.3	10.5	5.3	-5.3	-10.6
	非製造業	21.0	42.1	36.8	5.3	5.3	10.5	10.5	15.8	5.3	10.6	31.5	15.8	26.3	5.3
	全業種	13.2	23.6	15.8	5.2	7.9	10.5	2.6	13.1	10.5	7.9	21.1	10.5	15.8	2.6
取引条件	製造業	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	-5.3	0.0	5.3	5.3	0.0	-5.3
	非製造業	0.0	5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3
	全業種	2.6	2.6	0.0	-2.7	-2.7	-5.3	0.0	-7.9	-2.6	0.0	0.0	0.0	-2.6	-5.2
収益状況	製造業	-26.3	-42.1	-21.1	-26.3	-10.6	-31.5	-5.3	-15.8	-15.8	5.3	-26.3	5.3	0.0	26.3
	非製造業	10.5	21.1	-5.3	-15.8	10.6	21.1	-26.3	5.3	-10.6	21.0	10.5	-15.8	-5.3	-15.8
	全業種	-7.9	-10.5	-13.2	-21.0	0.0	-5.3	-15.8	5.3	-13.1	13.2	-7.8	-5.3	-2.7	5.2
資金繰り	製造業	-10.5	-21.1	-21.1	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	0.0	0.0	-10.5	-10.5	-5.3	5.2
	非製造業	15.8	15.8	0.0	-21.1	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.3	5.3	0.0	-21.1	0.0	-15.8
	全業種	2.7	-2.6	-10.6	-13.1	-7.9	-2.6	-7.9	-2.6	-2.6	2.7	-5.3	-15.8	-2.7	-5.4
設備操業度	製造業	5.3	-5.2	10.6	-31.5	5.3	0.0	5.2	15.8	-21.0	15.8	-21.0	10.5	-26.3	-31.6
雇用人員	製造業	-5.2	-5.2	-5.2	-21.0	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-21.1	-10.5	-10.5	-5.3
	非製造業	0.0	5.3	10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.3	0.0	0.0	15.8	10.5	-5.3	-5.3	-5.3
	全業種	-2.7	0.0	2.6	-13.2	-10.6	-2.7	-5.3	-5.2	-5.3	5.3	-5.2	-7.9	-7.9	-5.2
景況	製造業	-26.3	-36.8	-31.5	-42.1	-31.5	-26.3	-31.5	-36.8	-21.1	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	15.8
	非製造業	0.0	15.8	-5.3	-10.6	0.0	21.1	-26.3	0.0	-5.3	15.8	5.3	-15.8	-15.8	-15.8
	全業種	-13.1	-10.5	-18.4	-26.3	-15.8	-2.6	-28.9	-18.4	-13.1	0.0	-10.5	-15.8	-13.1	0.0

最近の指標の前年同月比D Iの推移

		2024年												2025年	前年との 増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	-10.5	5.2	-15.8	0.0	5.2	-5.3	10.5	0.0	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	-42.1	-31.6
	非製造業	26.3	21.0	5.2	-5.2	-15.8	10.5	15.7	5.3	-5.3	36.9	15.8	0.0	-31.6	-57.9
	全業種	7.9	13.2	-5.3	-2.6	-5.3	2.6	13.2	2.7	-13.1	7.9	-26.0	-10.5	-36.8	-44.7
在庫数量	製造業	-15.8	0.0	-10.6	-10.5	-10.5	-15.8	-21.0	5.2	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.2	10.6
	非製造業	16.7	25.0	16.7	16.7	8.4	16.7	-16.7	16.7	8.4	16.7	16.7	8.3	0.0	-16.7
	全業種	-3.2	9.7	0.0	0.0	-3.2	-3.2	-6.5	9.6	-3.2	3.2	0.0	3.2	-3.2	0.0
販売価格	製造業	15.8	0.0	-5.3	15.8	10.5	26.3	26.3	21.0	21.0	21.0	21.0	10.5	15.8	0.0
	非製造業	42.1	57.9	57.9	63.2	52.6	57.9	52.6	42.1	57.9	31.6	63.2	57.9	68.4	26.3
	全業種	28.9	28.9	26.3	39.5	31.6	42.1	39.4	31.6	39.5	26.3	42.1	34.2	42.1	13.2
取引条件	製造業	-10.5	-5.3	-5.3	-5.2	-5.2	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-21.0	-10.5	-10.5	-10.5	0.0
	非製造業	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	0.0	-5.2	0.0	-21.1	-10.6
	全業種	-10.6	-2.6	-7.9	-10.5	-10.6	-13.2	-13.2	-7.9	-15.8	-10.5	-7.9	-5.3	-15.8	-5.2
収益状況	製造業	-36.9	-26.3	-36.8	-36.8	-47.3	-42.1	-5.2	-15.8	-42.1	-57.9	-42.1	-47.3	-57.9	-21.0
	非製造業	5.2	21.1	5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	5.2	15.8	15.8	5.3	-5.3	-21.1	-26.3
	全業種	-15.8	-2.6	-15.8	-23.6	-23.7	-18.4	0.0	-5.2	-13.2	-21.1	-18.4	-26.3	-39.5	-23.7
資金繰り	製造業	-10.9	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	5.2	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-21.1	-10.2
	非製造業	5.3	10.5	5.3	-15.8	-5.3	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-5.2	0.0	-21.0	-15.8	-21.1
	全業種	-2.6	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-2.6	-2.6	-5.3	-13.1	-10.5	-21.1	-18.4	-15.8
設備操業度	製造業	-5.3	0.0	-15.8	-26.3	-26.3	-21.1	-10.6	5.3	-15.8	-15.8	-31.6	-31.6	-31.6	-26.3
雇用人員	製造業	-21.1	-21.0	-26.3	-36.8	-31.5	-10.6	-10.5	-15.8	-21.1	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-5.2
	非製造業	5.3	0.0	5.2	5.2	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.2	5.2	-5.3	-10.6
	全業種	-7.9	-10.5	-10.5	-15.8	-13.2	-5.3	-5.3	-7.9	-13.1	-7.9	-10.5	-10.5	-15.8	-7.9
景況	製造業	-36.8	-36.8	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-26.3	-21.1	-42.1	-42.1	-36.8	-31.5	-42.1	-5.3
	非製造業	0.0	-5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.3	0.0	0.0	-10.6	15.8	5.2	-15.8	-31.5	-31.5
	全業種	-18.4	-21.1	-15.8	-18.4	-26.3	-13.2	-13.2	-10.5	-26.3	-13.1	-15.8	-23.7	-36.9	-18.5

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	
	木材・木製品	3	0	1	0	3	1	1	3	0	0	4	0	2	1	1	0	3	1	2	2	0	0	3	1	1	2	
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	
	化学ゴム																											
業	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	
	一般機器	2	1	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	輸送用機器																											
	その他																											
非製造業	卸売業	19	7	9	3	1	16	2	1	18	0	0	19	0	2	15	2	0	18	1	5	14	0	0	17	2	1	15
	小売業	100%	36.8%	47.4%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	94.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	78.9%
	商店街	1	3	2	0	5	1	1	4	1	0	5	1	0	6	0	0	6	0				0	6	0	0	6	0
	サービス業	2	1	2				2	3	0	0	5	0	1	3	1	1	4	0				0	3	1	0	2	2
	建設業	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業	1	1	0				1	1	0	1	2	0	0	1	1	0	0	2	0			0	2	0	0	2	0
業	その他																											
	19	5	8	6	1	9	1	6	12	1	0	18	1	2	14	3	1	17	1			0	18	1	1	14	4	
	100%	26.3%	42.1%	31.6%	8.3%	75.0%	8.3%	31.6%	63.2%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%			0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	73.7%	21.1%	
	38	12	17	9	2	25	3	7	30	1	0	37	1	4	29	5	1	35	2	5	14	0	0	35	3	2	29	
	100%	31.6%	44.7%	23.7%	6.5%	80.6%	9.7%	18.4%	78.9%	2.6%	0.0%	97.4%	2.6%	10.5%	76.3%	13.2%	2.6%	92.1%	5.3%	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%	92.1%	7.9%	5.3%	76.3%	

情報連絡員報告総括表（令和7年10月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0
繊維工業	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	0	1	2	0	2	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	1	2
木材・木製品	0	0	4	0	4	0	1	3	0	0	0	3	1	0	4	0	2	2	0	2	2	0	3	1	0	1	3
紙・紙加工品	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	0	2	1	0	3	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	2	7	10	1	16	2	4	14	1	0	17	2	1	6	12	0	15	4	0	13	6	0	14	5	0	11	8
100%	10.5%	36.8%	52.6%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	31.6%	63.2%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	73.7%	26.3%	0.0%	57.9%	42.1%
卸売業	0	3	3	0	5	1	3	3	0	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0			1	5	0	1	4	1
小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1
商店街	0	3	1	1	3	0	4	0	0	0	2	2	0	2	2	0	2	2				0	2	2	0	2	2
サービス業	2	0	3				4	1	0	0	3	2	1	3	1	0	5	0				1	4	0	0	3	2
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
運輸業	1	1	0				1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
その他																											
19	3	7	9	1	9	1	13	6	0	0	15	4	2	11	6	0	16	3				2	14	3	1	11	7
100%	15.8%	36.8%	47.4%	8.3%	75.0%	8.3%	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%	78.9%	21.1%	10.5%	57.9%	31.6%	0.0%	84.2%	15.8%				10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	57.9%	36.8%
38	5	14	19	2	25	3	17	20	1	0	32	6	3	17	18	0	31	7	0	13	6	2	28	8	1	22	15
100%	13.2%	36.8%	50.0%	6.5%	80.6%	9.7%	44.7%	52.6%	2.6%	0.0%	84.2%	15.8%	7.9%	44.7%	47.4%	0.0%	81.6%	18.4%	0.0%	68.4%	31.6%	5.3%	73.7%	21.1%	2.6%	57.9%	39.5%